

[1]四国の事業用自動車による重大事故発生状況

1. 自動車保有台数

令和6年12月末現在の四国管内における事業用自動車の保有台数は表1のとおりです。

【令和6年の対前年比】					【参考: 令和5年の対前年比】		
徳島県	9,893台	(前年比	+ 49台	+0.50%)	(前年比	+ 109台	+1.12%)
香川県	16,598台	(前年比	- 34台	-0.20%)	(前年比	- 195台	-1.16%)
愛媛県	21,727台	(前年比	- 28台	-0.13%)	(前年比	- 128台	-0.58%)
高知県	8,816台	(前年比	- 87台	-0.99%)	(前年比	- 55台	-0.61%)
計	57,034台	(前年比	- 100台	-0.18%)	(前年比	- 269台	-0.47%)

表1 自動車保有台数(令和6年12月末現在)

区 分	県 別	徳 島	香 川	愛 媛	高 知	四 国
事業用	バ ス	630	726	840	488	2,684
	ハイタク	969	1,462	2,016	1,135	5,582
	トラック	8,294	14,410	18,871	7,193	48,768
	計	9,893	16,598	21,727	8,816	57,034
自家用	バ ス	732	843	1,181	698	3,454
	乗用	456,809	596,644	746,919	395,369	2,195,741
	トラック	133,029	155,899	221,384	134,411	644,723
	計	590,570	753,386	969,484	530,478	2,843,918
小型・軽二輪車		21,804	33,388	41,890	25,275	122,357
合 計		622,267	803,372	1,033,101	564,569	3,023,309

(注) 1. 軽自動車を使用して貨物を運送する事業用自動車は自家用トラックに含む

2. 特種自動車、大型特殊自動車はトラックに含む

3. トレーラも1台としてカウント

【参考: 令和5年12月末現在の保有車両数】						
区 分	県 別	徳 島	香 川	愛 媛	高 知	四 国
事業用	バ ス	640	727	832	513	2,712
	ハイタク	976	1,471	2,062	1,164	5,673
	トラック	8,228	14,434	18,861	7,226	48,749
	計	9,844	16,632	21,755	8,903	57,134

2. 交通事故発生状況

令和6年の四国及び全国の交通事故の発生状況は表2のとおりです。

表2 交通事故発生状況

(令和6年1月～12月)

	県 別	徳 島	香 川	愛 媛	高 知	四 国	全 国
発生 件数	令和6年	1,817	2,943	2,074	898	7,732	290,895
	令和5年	1,987	3,041	2,115	975	8,118	307,930
	増減数	-170	-98	-41	-77	-386	-17,035
	増減率	-8.6%	-3.2%	-1.9%	-7.9%	-4.8%	-5.5%
死者 数	令和6年	33	31	52	21	137	2,663
	令和5年	28	33	43	23	127	2,678
	増減数	5	-2	9	-2	10	-15
	増減率	17.9%	-6.1%	20.9%	-8.7%	7.9%	-0.6%
負傷 者数	令和6年	2,145	3,579	2,271	984	8,979	344,395
	令和5年	2,352	3,712	2,315	1,049	9,428	365,595
	増減数	-207	-133	-44	-65	-449	-21,200
	増減率	-8.8%	-3.6%	-1.9%	-6.2%	-4.8%	-5.8%

出典：警察庁HP「令和6年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」

2-2. 事業用自動車の重大事故発生状況

令和6年中に四国で自動車事故報告規則に基づき、国土交通大臣に報告された事業用自動車による重大事故の発生件数、死傷状況等は表3のとおりであり、四国全体では、令和5年と比較して発生件数及び死者数が増加しており、負傷者数が減少しています。

発生件数	118件（前年比 ＋ 9件）
死者数	20人（前年比 ＋ 1人）
負傷者数	53人（前年比 － 3人）

表3 事業用自動車による重大事故発生状況

(令和6年1月～12月)

	県 別	徳 島	香 川	愛 媛	高 知	四 国
発生 件数	令和6年	28	34	38	18	118
	令和5年	27	31	31	20	109
	増減数	1	3	7	-2	9
	増減率	3.7%	9.7%	22.6%	-10.0%	8.3%
死者 数	令和6年	2	7	5	6	20
	令和5年	3	8	4	4	19
	増減数	-1	-1	1	2	1
	増減率	-33.3%	-12.5%	25.0%	50.0%	5.3%
負傷 者数	令和6年	13	11	18	11	53
	令和5年	19	13	18	6	56
	増減数	-6	-2	0	5	-3
	増減率	-31.6%	-15.4%	0.0%	83.3%	-5.4%

3. 重大事故発生状況の推移

管内の事業用自動車の重大事故発生状況の推移は表4のとおりであり、令和6年は事故発生件数及び死者数が増加しており、負傷者数が減少しています。

事故の発生率を表す1000台あたりの事故件数は、直近の2年連続で増加しています。

管内の事業用自動車数の推移は図2のとおりであり、直近10年間では令和2年をピークに、わずかに減少しています。

表4 重大事故発生状況の推移

	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
自動車数	54,768	55,493	56,124	56,599	57,332	57,453	57,447	57,403	57,134	57,034
事故件数	121	115	138	107	118	77	90	88	109	118
死者数	39	35	39	24	38	23	19	11	19	20
負傷者数	91	134	119	82	80	47	57	42	56	53
1,000台 あたり 事故件数	2.2	2.1	2.5	1.9	2.1	1.3	1.6	1.5	1.9	2.1

図1 重大事故発生状況の推移

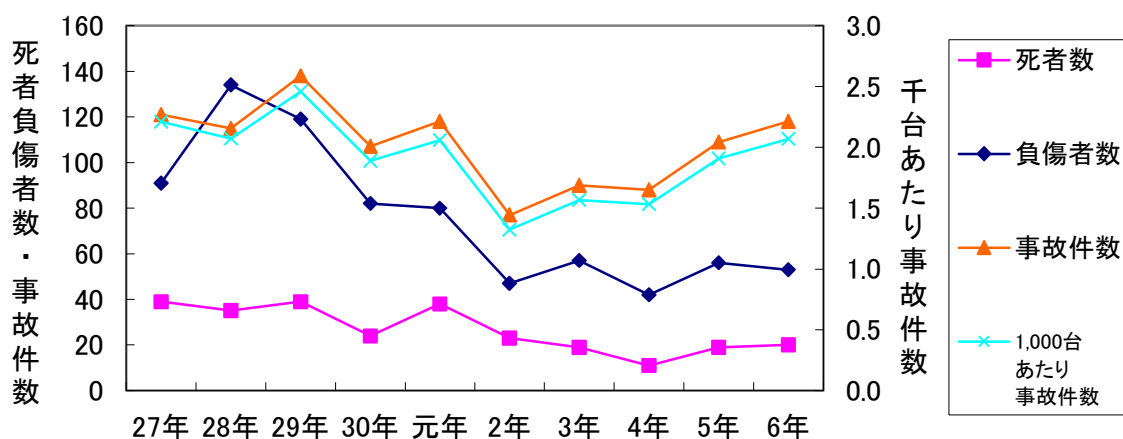
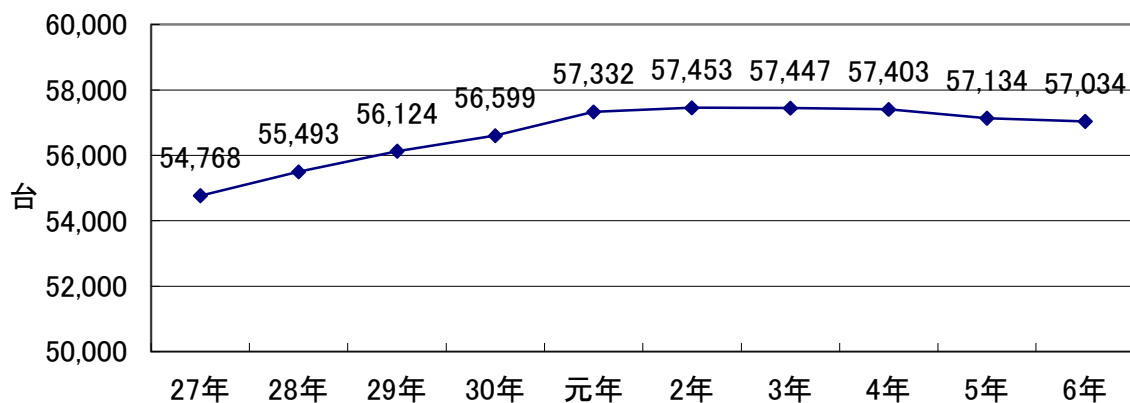


図2 事業用自動車数の推移



4. 事業用自動車1,000台当たりの重大事故件数

事業用自動車1,000台当たりの重大事故発生件数を県別でみると、徳島県2.8件、香川県2.0件、愛媛県1.7件、高知県2.0件となっており、徳島県が四国の平均値2.1を大きく上回っています。

表5 県別、業態別事業用自動車1,000台当り重大事故件数

(令和6年1月～令和6年12月)

	県 別	徳 島	香 川	愛 媛	高 知	四 国
発 生 件 数	バ ス	14	17	14	6	51
	ハイタク	2	1	6	0	9
	トラック	12	16	18	12	58
	計	28	34	38	18	118
自 動 車 数	バ ス	630	726	840	488	2,684
	ハイタク	969	1,462	2,016	1,135	5,582
	トラック	8,294	14,410	18,871	7,193	48,768
	計	9,893	16,598	21,727	8,816	57,034
の 千 台 あ た り	バ ス	22.2	23.4	16.7	12.3	19.0
	ハイタク	2.1	0.7	3.0	0.0	1.6
	トラック	1.4	1.1	1.0	1.7	1.2
	計	2.8	2.0	1.7	2.0	2.1

【参考】表5 県別、業態別事業用自動車1,000台当り重大事故件数

(令和5年1月～令和5年12月)

	県 別	徳 島	香 川	愛 媛	高 知	四 国
発 生 件 数	バ ス	13	9	9	7	38
	ハイタク	1	3	0	5	9
	トラック	13	19	22	8	62
	計	27	31	31	20	109
自 動 車 数	バ ス	640	727	832	513	2,712
	ハイタク	976	1,471	2,062	1,164	5,673
	トラック	8,228	14,434	18,861	7,226	48,749
	計	9,844	16,632	21,755	8,903	57,134
の 千 台 あ た り	バ ス	20.3	12.4	10.8	13.6	14.0
	ハイタク	1.0	2.0	0.0	4.3	1.6
	トラック	1.6	1.3	1.2	1.1	1.3
	計	2.7	1.9	1.4	2.2	1.9

5. 業態別重大事故発生状況

重大事故発生状況を業態別に示すと表6のとおりであり、発生件数に占める業態別の割合はバスが51件43.2%（前年34.9%）、ハイタクが9件7.6%（前年8.3%）、トラックが58件49.2%（前年56.9%）となっています。事故の種類で最も多いのは、バスの車両故障（44件）、次いでトラックの衝突事故（21件）、トラックの死傷事故（10件）となっており、この3種類で全体の63.6%を占めています。

表6 県別、業態別、種類別発生状況

（令和6年1月～令和6年12月）

区分		事故 件数	構 成 率	事故の種類(数値は件数)												損害		
県別	業 態			転 覆	転 落	逸路 脱外	火 災	踏 切	衝 突	車 内	死 傷	起 因	健康 等	物 等	危険 陰	故障 車両	その他	死者
徳島	バス	14	11.9%									1			13			
	ハイタク	2	1.7%									1			1		1	
	トラック	12	10.2%				3		4		1	1	1	1	1	1	1	13
	計	28	23.7%				3		4		1	3	1	15	1		2	13
香川	バス	17	14.4%						2		1				14			2
	ハイタク	1	0.8%									1						1
	トラック	16	13.6%	1	2		2		7		1	1		1	1	1	7	8
	計	34	28.8%	1	2		2		9		2	2		15	1		7	11
愛媛	バス	14	11.9%												14			
	ハイタク	6	5.1%						5		1						1	4
	トラック	18	15.3%	2	1		4		4		4			1	2	4	4	14
	計	38	32.2%	2	1		4		9		5			15	2		5	18
高知	バス	6	5.1%							1		2		3				3
	ハイタク	0	0.0%															
	トラック	12	10.2%	1	1				6		4						6	8
	計	18	15.3%	1	1				6	1	4	2		3			6	11
管内	バス	51	43.2%						2	1	1	3		44				5
	ハイタク	9	7.6%						5		1	2		1			2	5
	トラック	58	49.2%	4	4		9		21		10	2	1	3	4	18	43	
	計	118		4	4		9		28	1	12	7	1	48	4	20	53	

（注）1. 車内事故とは、急ブレーキ、急ハンドル等により当該自動車に乗車している者が死傷したもの
2. 死傷事故とは、通行人（自転車に乗って通行していた人を含む。）と接触又は衝突したもの

【参考】令和5年1月～令和5年12月

区分		事故 件数	構 成 率	事故の種類(数値は件数)												損害		
県別	業 態			転 覆	転 落	逸路 脱外	火 災	踏 切	衝 突	車 内	死 傷	起 因	健康 等	物 等	危険 陰	故障 車両	他 その	死者
管内	バス	38	34.9%				1		1	3	2	1			30			7
	ハイタク	9	8.3%						2		6					1	2	10
	トラック	62	56.9%	6	2	1	9		22		10		1	6	5	17	39	
	計	109		6	2	1	10		25	3	18	1	1	36	6	19	56	

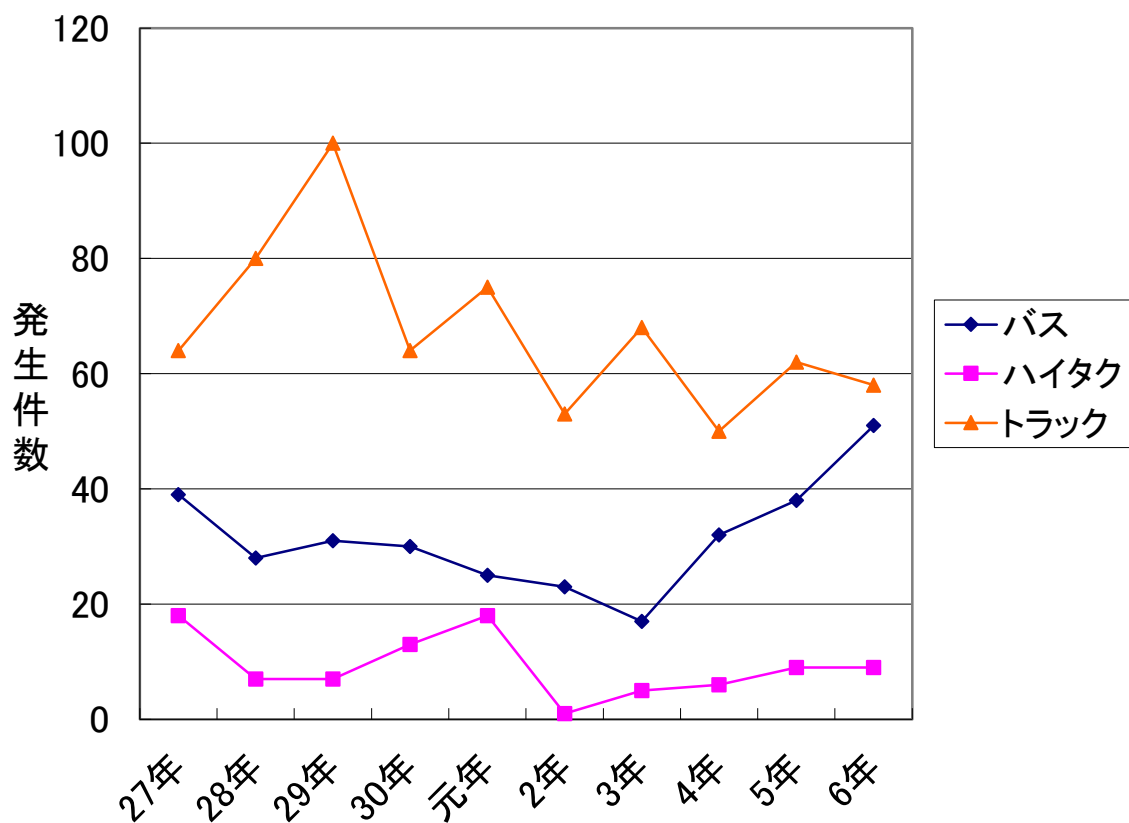
6. 業態別重大事故の推移

業態別重大事故発生状況の推移は表7及び図3のとおりであり、前年と比較してバスの発生件数が大きく増加し、トラックの発生件数が減少しています。

表7 業態別重大事故の推移

	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
バス	39	28	31	30	25	23	17	32	38	51
ハイタク	18	7	7	13	18	1	5	6	9	9
トラック	64	80	100	64	75	53	68	50	62	58
計	121	115	138	107	118	77	90	88	109	118

図3 業態別重大事故の推移



7. 種別別重大事故発生状況

表6に示した事故の種別別重大事故発生件数を割合でみると表8及び図4のとおりであり、前年と比較し、転覆事故及び死傷事故が減少しているものの、転落事故、衝突事故、車両故障が増加しています。死者が生じた事故件数は表9及び図5のとおり19件(死者20名)で、衝突事故及び死傷事故がおおよそ9割を占めています。

表8 種別別重大事故発生状況

事故種類	件数	構成率
転覆	4	3.4%
転落	4	3.4%
路外逸脱		0.0%
火災	9	7.6%
踏切		0.0%
衝突	28	23.7%
車内	1	0.8%
死傷	12	10.2%
健康起因	7	5.9%
危険物等	1	0.8%
車両故障	48	40.7%
その他	4	3.4%
計	118	

【参考】令和5年

件数	構成率
6	5.5%
2	1.8%
1	0.9%
10	9.2%
	0.0%
25	22.9%
3	2.8%
18	16.5%
1	0.9%
1	0.9%
36	33.0%
6	5.5%
109	

図4 種別別重大事故発生件数

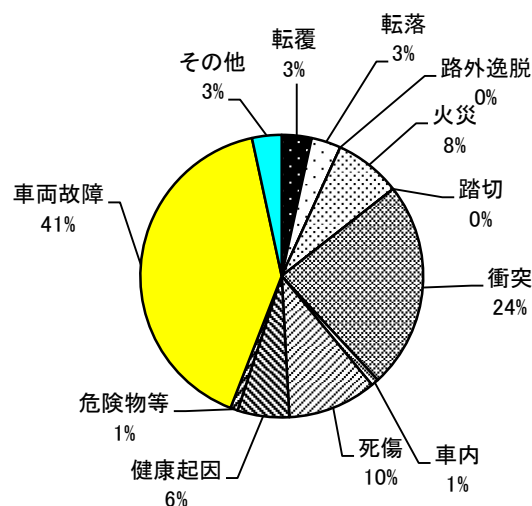


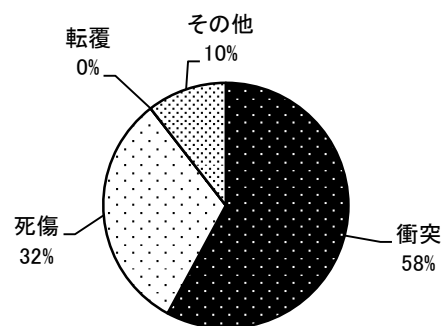
表9 種別別死亡事故発生状況

事故種類	件数	構成率
衝突	11	57.9%
死傷	6	31.6%
転覆		0.0%
その他	2	10.5%
計	19	

【参考】令和5年

件数	構成率
10	52.6%
7	36.8%
1	5.3%
1	5.3%
19	

図5 種別別死亡事故発生状況



8. 種類別重大事故の推移

最近10年間における種類別事故は表10のとおりであり、平成27年から令和6年まで10年間の事故種類別ごとに合計した構成率は、衝突事故が最も多い30.4%、次いで車両故障が24.9%を占めています。

表10 種類別重大事故の推移

(1月～12月)											
	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	構成率
転覆	3	4	8	2	5	2	7	2	6	4	4.0%
転落	2	6	9	8	1	2	1	5	2	4	3.7%
路外逸脱						1			1		0.2%
火災	5	5	10	6	4	5	11	9	10	9	6.8%
踏切		1									0.1%
衝突	50	43	35	29	44	25	23	27	25	28	30.4%
車内	3	5	4	2	3	2	2	2	3	1	2.5%
死傷	23	26	30	24	25	15	12	8	18	12	17.9%
健康起因	1	3	4	6	2	1	5	5	1	7	3.2%
危険物等								1	1	1	0.3%
車両故障	30	17	27	25	25	20	17	24	36	48	24.9%
その他	4	5	11	5	9	4	12	5	6	4	6.0%
計	121	115	138	107	118	77	90	88	109	118	

【参考】

H26～R5

構成率

4.1%

3.6%

0.2%

6.3%

0.1%

32.4%

2.7%

19.0%

3.0%

0.2%

22.6%

5.7%

9. 原因別重大事故発生状況

重大事故発生状況を原因別にみると、全体の44.1%が車両に起因するものであり、次いで事業用自動車の運転者に起因するものが34.7%と比率が高く、歩行者及び他の車両等の相手方に起因するものが13.6%となっています。

運転者に起因する事故については、運転操作不良によるものが33件で全体の28.0%、運転者の健康状態によるものが7件で全体の5.9%、運転者の状態によるものが1件で全体の0.8%となっています。

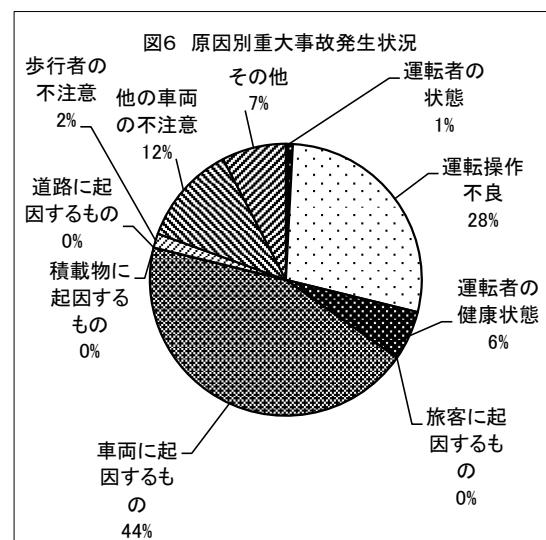
また、運転操作不良については、多い順に歩行者に対する不注意、左折・右折不適切、脇見運転となっており、運転者の状態の1件は居眠運転となっています。

表11 原因別重大事故発生状況

原因	件数	構成率
運転者の状態	1	0.8%
運転操作不良	33	28.0%
運転者の健康状態	7	5.9%
旅客に起因するもの		0.0%
車両に起因するもの	52	44.1%
積載物に起因するもの		0.0%
道路に起因するもの		0.0%
歩行者の不注意	2	1.7%
他の車両の不注意	14	11.9%
その他	9	7.6%
計	118	

【参考】令和5年

件数	構成率
4	3.7%
32	29.4%
1	0.9%
	0.0%
45	41.3%
	0.0%
1	0.9%
6	5.5%
17	15.6%
3	2.8%
109	



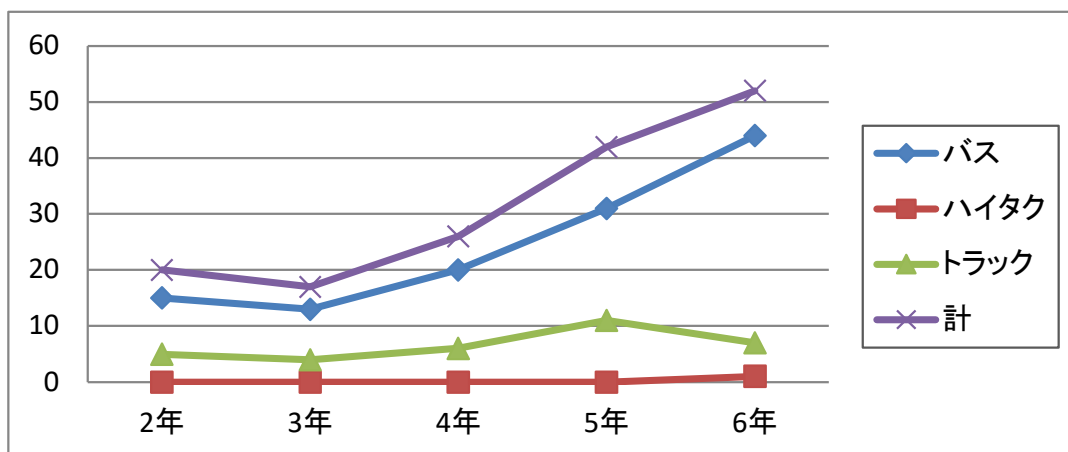
(参考)運転操作不良の分類

脇見運転	4 件
乗務時の通告不履行又は確認不良	件
発車時の安全確認の不良又は不履行	1 件
歩行者に対する不注意	7 件
最高速度制限の不履行	件
安全速度の不履行	1 件
車間距離不適切	件
信号無視	2 件
一時停止又は徐行不履行	件
停留所における停車方法の不適切	件
悪路における運転操作不適切	件
追越不適切	件
後退方法不適切	件
踏切通過時一旦停止、安全確認不良	件
運転操作粗暴	件
操縦未熟	2 件
左折、右折不適切	5 件
乗降口扉の開閉不適切(ワンマン)	件
漫然運転	3 件
その他	8 件
計	33 件

車両故障事故の発生状況(車両不具合に起因する火災事故含む)

1. 業態別車両故障事故件数の推移

	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
バス	15	13	20	31	44	123
ハイタク	0	0	0	0	1	1
トラック	5	4	6	11	7	33
計	20	17	26	42	52	157



2. 県別車両故障事故件数の推移

	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
徳島	6	2	4	12	16	40
香川	3	10	12	10	15	50
愛媛	7	4	8	9	18	46
高知	4	1	2	11	3	21
四国計	20	17	26	42	52	157

